

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	調査員確保対策事業			会計	款	項	目	大	小
政 策	06	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行政運営（行政の充実）		主管課	企画政策課				
施 策	6-2	健全で効率的な行財政運営		主管課長	浅水 透				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	各種統計調査	意図	円滑に実施できる体制が整う。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 統計調査員登録者を確保するために、調査員経験者を対象として、次年度の統計調査への従事意向の確認を行う。 統計調査員登録者の統計調査への理解を深めることを目的として、千葉県等が主催する研修会に参加を促す。 			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> 『千葉県統計調査員確保対策事業要綱』『流山市統計調査員確保対策事業実施要領（平成26年3月制定）』に基づき統計調査員の確保と資質の向上に努めている。 平成17年1月に『流山市統計研究会』が発足し、資質向上に向けた自主的活動が開始。 調査員の高齢化とともに、調査員の確保が困難となってきた。 			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	登録調査員数	73	87	90	人	→→	年度末の千葉県登録調査員数
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・統計調査員登録者87名に対して次年度の従事確認を行なった。その結果、2名から調査継続不可能との連絡を受け、85名の継続の意向を確認した。 ・市広報紙、ホームページを活用して調査員を募集した。その結果、4名の応募があり登録に至った。 ・登録調査員に調査員候補者の紹介を求めた。その結果、新たに1名の登録に至った。 ・調査経験者向けの意向調査の結果から、調査上の問題点を整理し、国や県に対し改善要望を行った。 ・調査員の高齢化が進んでおり、平均年齢は68.93歳となっている。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		698,472	1,359,048	681,200				
事業費(b)(円)		11,972	16,648	22,000				
うち一般財源								
職員給与費(c)(円)		686,500	1,342,400	659,200				
人役・職員(人)		0.10	0.20	0.10				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	・新規登録調査員の確保。	③取組における課題(Check)	・新規登録調査員の確保。
②H30に実施した取組(Do)	・広報、ホームページで公募を行った他、既存の登録調査員から知人を募るなど、確保に努めた。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	・広報やチラシ等を用い、広く市民に対して働きかけ、調査員の確保に努める。